



MEDIA ADVISORY

アメリカ館

アルドリン・バズ博士 9月14日にアメリカ館訪問
17時30分写真撮影会 開催

長久手、2005年9月13日：NASAの宇宙飛行士であり退役アメリカ空軍将校であるアルドリン・バズ博士は9月14日、アメリカ館を訪問します。当日、アメリカ館の「アメリカの道のり」ギャラリーにて、17時30分より日本のメディア対象に写真撮影会を行います。

ご興味のあるメディアの方は、予約をしていただくため 山田佳代（0561）64-3081までご連絡ください。当日は、17時15分までにメインエントランスの隣にあるメディア関係者入り口までお越しください。

1969年7月20日、アポロ11号の宇宙飛行士であるアルドリン・バズ氏とアームストロング・ニール氏は月面に月着陸船を着陸させ、人類で初の月面歩行をしました。この史上初の勇敢な試みは、歴史上でもっとも多くの人々によって目撃されることとなりました。アルドリン博士は、米国やその他多くの国から受けた50もの非常に優れた賞やメダルの中でも、最も名誉である自由勲章を贈られました。NASAを退職して以来、アルドリン博士は有人宇宙探査において、米国のために継続して主導的役割を果たすべく最前線で努力をしてきました。宇宙の冒険により人生をかけた献身をするため、彼はロケットデザイン会社 スタークラフト ブースターズ (Starcraft Boosters, Inc.) と全ての人々に宇宙旅行のドアを開くことに取り組む非営利団体 シェアスペース ファウンデーション (ShareSpace Foundation) を設立しました。アルドリン博士と妻ルイスはロサンゼルスに住んでいます。